



南富良町立南富良野西小学校 学校だより

令和8年8月25日発行

第5号

西小っ子

2 学期が始まりました

校 長 渡 辺 悟 史



暑い日が続いた夏休みが終わり、心も体もたくましくなった子どもたちが学校に戻ってきました。校舎には毎日、子どもたちの元気な声が響き、学校全体に活気があふれています。

さて、2学期は子どもたちにとって、心身ともに大きく成長する時期です。新しいことに挑戦したり、さまざまな視点に触れたりする中で、自ら学び、体験を通して身に付けた知識や技能を日常生活と結び付けることができる大切な時間となります。

そのためには、学校外での活動や体験を充実させることも重要だといわれています。学校では、子どもたちの学校生活がより価値あるものとなるよう、指導方法の工夫と改善に努めてまいります。また、すべての教科・領域において、豊かに考え、適切に判断し、自分の思いや考えを表現できる子どもの育成を目指し、授業づくりの充実を進めてまいります。

【2学期始業式でお話したこと】

始業式の校長講話では、「見通しをもつこと」についてお話ししました。

自分が何をするか、あるいは何をしないかによって、たどり着くゴールは変わります。また、その行動は周りの人にもさまざまな影響を与えます。自分が知っていることや学んだことを生かして最善のゴールを目指すことは、自分の目的達成への近道となるだけでなく、周りの人の安心・安全を守ることに繋がります。

では、ゴールが見えず、見通しが立たないときはどうすればよいのでしょうか。そのようなときは、「目標」をもてばよいのです。目標とは、自分自身で自由に設定できる、自分だけのゴールです。ゴールが見えないからと迷うのではなく、自ら目標を定めて歩みを進めることが、「主体的な学び」につながります。

また、先生方は子どもたち一人一人の目標達成に向けて、これからも全力でサポートしていきます。しかし、先生方も「教師として生きる」という経験しかしていないため、すべての疑問に答えられないことがあるかもしれません。そのようなときは、先生方も子どもたちと一緒に調べ、考えます。それこそが、「個別最適な学び」であり、「探究的な学び」です。2学期が、子どもたちにとって実り多く、価値ある時間となることを願っています。

【次期学習指導要領について】

これから訪れる新しい社会に対応するための新しい学び方について、現在、鋭意検討が進められています。これまでの学びを基盤としながら、知識・技能の習得に偏ることなく、より深い理解を目指し、多様な学びに対応できる学校へと変えていこうとしています。

現在、さまざまな変更点が検討されていますが、ここではその中でも今後の大きな変化につながる可能性のある「調整時数制度」について紹介します。

調整時数制度とは、年間の総授業時数は維持しながらも、各学校の裁量によって時間割を柔軟に編成できる仕組みです。現在の予定では、2028年度から先行実施される見込みとなっています。

これまで、各教科や領域には標準授業時数が定められており、その時数を下回ることなく授業を実施することが前提とされてきました。しかし、調整時数制度では、総授業時数の15%程度を削減し、その分を学校の裁量による活動に充てることが可能となる方向で検討されています。

例えば、現在の5年生の年間総授業時数は1,015時間です。この制度を活用すると、およそ130～140時間程度（週当たり4時間程度）の「裁量の時間」を確保できる可能性があります。この時間は、苦手教科の克服や定着、得意分野の伸長、探究的な学習の充実など、特定の教科への上乗せに活用したり、新しい領域や教科（情報・技術など）の設置に充てたりすることができるとされています。これにより、学校での活動をより充実させるとともに、学習内容の習得が難しい教科や単元、題材に十分な時間を確保し、理解を深めることや、一人一人に応じた学びの充実を図ることができそうです。

この制度は、これまでの学校教育にはなかった新しい考え方です。そのため、導入によって学校がどのように変化していくのかについては現時点で明確に示すことは難しいですが、子どもたちの学びの効果をさらに高める取組として注目されています。

令和 8 年度
南富良野西小学校 前期学校評価「結果」

項目	児童	保護者	教職員
1 学校の学習内容をよく理解できていましたか。	3.8	3.3	3.5
2 授業の準備を進めたり、考えを進んで発表したりするなど、学習に対して意欲的な姿が見られましたか。	3.5	3.0	3.5
3 宿題や家庭学習に毎日しっかりと行っていましたか。	3.2	3.2	3.6
4 先生や友達など周りの人に、思いやりのある言葉遣いを心掛け、楽しく学校生活を送っていましたか。	3.8	3.4	3.8
5 しっかりとした返事や挨拶を誰に対しても行っていましたか。	3.6	2.9	3.5
6 友だちと協力し合ったり、互いに励まし合ったりして生活していましたか。	3.7	3.5	3.9
7 きまりや約束を守り、自分の健康や安全に気を付けて毎日の生活を送っていましたか。	3.8	2.9	3.8
8 進んで運動していましたか。	3.7	3.3	3.9
9 「早寝・早起き・朝ごはん」など、基本的な生活リズムを意識した生活をしていましたか。	3.3	2.8	3.4
10 学校は、地域の人材を活用するなど教育の質を高め、家庭・地域との連携による教育活動を推進していると思いますか。	4.0	3.4	3.9
11 決められた時間を守り適度にゲームやタブレット等に親しむことができますか。	3.2	2.5	3.1
12 学校は、家庭・地域との連携を図り、目指す子どもの姿を保護者・地域と共有し、一体となって育む「地域とともにある学校」づくりを進めていると思いますか。		3.3	3.8
13 自分のよさ(自己有用感)をしっかり持つことができますか。	3.1	3.0	3.4
14 読書に親しんでいますか。	2.9	2.8	3.4

○評価は 4 段階（4. とてもそう思う 3. まあまあそう思う 2. あまりそう思わない 1. ぜんぜんそう思わない）をポイント化しています。

学校評価を受けての方策

【メディアと生活習慣の適正化】 家庭と連携し、メディア機器の使用ルール作りを推進します。また、基本的な生活リズムを整え、メディアの過剰使用を防ぐことで健やかな生活基盤と学習意欲を育めるよう、道徳や生活科、家庭科などを中心に指導します。

【読書活動・図書館環境の充実】 図書室の利用促進をはじめ、朝の読書タイムや読み聞かせ、本の紹介などの読書奨励を継続します。また、図書委員会の活動とも連携し、全校で読書推進に取り組みます。

【地域や家庭での挨拶と適切な返事】 校内だけでなく、通学路や家庭でも主体的に挨拶ができるよう指導を行います。あわせて、児童会活動と連携し、TPO に応じた適切な返事やマナーを身につけられるよう働きかけていきます。

9月(後半)行事予定

日	曜日	学校行事
15	火	稲刈り体験
17	木	修学旅行 1 日目
18	金	修学旅行 2 日目
21	月	敬老の日
23	水	秋分の日
24	木	稲刈り体験（予備）集合学習②
25	金	児童会
28	月	マラソン記録会
29	火	臨時休業（上教研南部地区研）
30	水	マラソン記録会（予備）

10月(前半)行事予定

日	曜日	学校行事
1	木	全校朝会
2	金	児童会 第3回 PTA 会議
4	日	ノーゲームデー
5	月	視力検査（低）
6	火	5・6 年理科野外学習
7	水	読み聞かせ 視力検査（中）
8	木	就学時健診
9	金	クラブ活動 視力検査（高）
12	月	スポーツの日
13	火	脱穀体験

半崎美子さんの特別授業

9 月 4 日（金）に、半崎美子さんの特別授業で行われます。本校の児童と授業する様子をご覧いただけます。参加を希望される方は、まだ間に合いますので、下の QR コードを読み取るか、学校（55-2050）まで電話をしてお申し込みください。

